

ほんまにさわやか 3月

H24.3.21 白岩小・保健室

肌寒い風の中にも、陽ざしは麗らかな春を感じることができるようにになってきました。

あたりまえの日々のありがたさをひしひしと感じた今年度でしたが、あと二日を残すだけとなりました。

後半は、インフルエンザAとBにかかりまれされてしましましたが、卒業式、修了式を迎えるそうです。

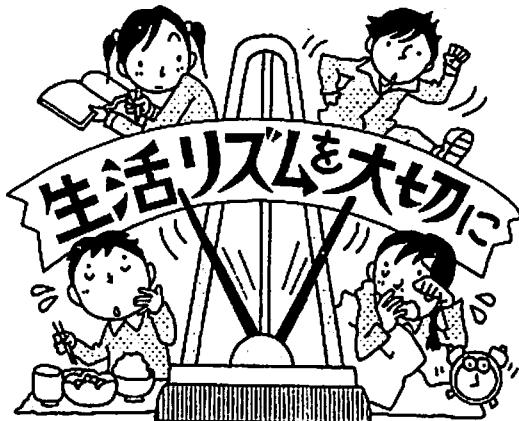
現在、低学年を中心にB型が猛威をふるっています。どうぞご家族皆様で予防に努めていただきますようお願いいたします。

また、かかってしまったら、くれぐれも無理はされないで余病のできることのないようにお気をつけいただきたいと思います。

一年間、お子さまの健康に配慮していただき、本当にありがとうございました。

これから春休みに入りますが、変化の大きい時期ですし、何やら心浮きたつ時期でもあります。一人ひとり けがや病気をしないよう気をつけ、新学期を迎える準備をして過してほしいと思います。

進級・卒業おめでとうございます。



花開くには、寒さが必要！

春になるといつせいに咲き誇る花たちには、冬の寒さが必要だそうです。

確かに、外の花だんの花たちは寒い冬を過ごしたせいか、元気いっぱいといった感じです。

夏の間にできた花の芽は、冬の寒さにさらされると、眠りからさめ、開花に向けてめざましい成長を始めます。

これを「休眠打破」というそうです。

つらいことがあるとそこから一歩も進めないような気持ちになりますが、それは、みなさん がもっと成長するための「休眠打破」なのかもしれません。

まだまだ寒い日がありますが、春に咲く花の芽は、見えない土の中や、枯れているような木の枝で、ちゃんと成長しています。

あなたの中でも、いつか花開く芽がきっと育っているのです。